

東日本鉄道OB会2支部に社長感謝状を贈呈



1月27日、長年にわたり当社の鉄道事業に多大な尽力をされた、東日本鉄道OB会の東京地方本部 柏支部と新潟地方本部 柏崎支部に対し、社長感謝状を贈呈しました。柏支部では、コロナ禍において現場第一線の社員を元気づけるため、激励ポスターを作製しました。また、柏崎支部では、越後線や信越線の駅清掃をはじめ同沿線の観光資源である海岸の清掃に継続的に取り組んでいます。

飯山線踏切事故から14年



2月1日、飯山線踏切事故*の慰霊を、事故現場の「安全の碑」の前で執り行いました。2m近くの積雪とみぞれが降る中、喜勢社長をはじめ、当社関係者が黙祷・献花を行い、お亡くなりになった方へのご冥福をお祈りするとともに、14年前のこの事故を決して忘れず、再発防止に取り組むことを改めて誓いました。

*2011年2月1日、飯山線 森宮野原～足滝間の大根原踏切で、踏切しゃ断機の故障の復旧対応中、社員が必要な安全確認を確実に行わないまま、手動でしゃ断かんを上げて乗用車を通したため、普通列車が乗用車と衝突する事故が発生。この事故により、乗用車を運転されていた方1名がお亡くなりになりました。

業務変革の取組みについてアメリカで講演



2月23～26日、アメリカ・カリフォルニア州ロングビーチで、米国公共交通協会（APTA）が主催する「Marketing, Communications & Customer Experience Workshop」が開催されました。当社からはモビリティ・サービス部門 業務変革ユニットの大林 嵩章さんが登壇し、当社の業務効率化と社員のモチベーション向上の取組みについて講演しました。

「NIKKEI Real Estate Summit 2025」でマーケティング本部の竹島副本部長が「TAKANAWA GATEWAY CITY」について講演



2月19日、東京国際フォーラムで開催された「NIKKEI Real Estate Summit 2025」で、マーケティング本部の竹島副本部長が講演を行いました。このイベントは「不動産の力で、社会を革新する」というテーマで、デベロッパーや金融各社が参加しています。当社は都市開発・環境セッションにて、「TAKANAWA GATEWAY CITY ～100年先の心豊かなくらしの実現～」というテーマで、JR東日本のまちづくりやTAKANAWA GATEWAY CITYの開発概要、この街において3つの大きな柱である「環境・モビリティ・ヘルスケア」の取組みなどについて講演し、約250名の受講者は熱心に聞き入っていました。今後もさまざまな機会や媒体を活用し、まちびらきをアピールしていきます。

「タッチトリガー」が2024年度IT賞を受賞



1月30日、Suicaタッチのタイミングをリアルタイムに活用できる「タッチトリガー」のサービスが、2024年度IT賞（公益社団法人企業情報化協会）を受賞しました。同賞はIT・デジタルの活用促進・活性化に寄与した企業などに贈られるものです。Suicaタッチから得られるデータに新たな価値を見出し、社内だけでなく社外と連携して活用する点が評価されました。

第69回澁澤賞を受賞



第69回澁澤賞（一般社団法人 日本電気協会）の贈呈式が11月19日に行われ、エネルギー企画部 信濃川発電所の風間副所長が受賞しました。「澁澤賞」は、現在の電気保安行政の基礎を築いた故 澁澤 元治博士の功績をたたえて、1956（昭和31）年に設けられ、広く電気保安の確保などに優れた業績をあげた方に贈られる権威ある賞です。風間副所長は入社以来、長きにわたって自営電力設備の保安・保全業務を担当し、電気の保安・信頼度の向上への貢献が高く評価されました。

TAKANAWA GATEWAY CITYがまちびらき

高輪ゲートウェイ駅直結のエキマチ一体の街「TAKANAWA GATEWAY CITY」が、3月27日にまちびらきを迎えました。JR東日本グループがこのまちづくり構想に本格着手してから約20年、品川～田町間の全長約1.6kmにわたる広大なフィールドに誕生するこの街は、グループが手がける都心最大級の複合都市となります。



100年先のくらしを考える街が始動

東海道新幹線や今後リニア中央新幹線が開通する品川駅まで1駅、羽田空港にも約15分という好アクセスの立地を活かし、世界に新たなイノベーションを発信する玄関口として、「Global Gateway」をコンセプトに掲げ、新たなビジネスや文化を創造し続ける国際交流拠点になることをめざしています。

また、この地はかつて高輪大木戸として江戸への「玄関口」の役割を担い、明治期に日本で初めて鉄道が走った際に、日本と西洋の技術を掛け合わせ「高輪築堤」というイノベーションを生み出した歴史的背景を有しています。こうした先人たちのイノベーションへの想いを受け継ぎ、街全体を「100年先の心豊かなくらしのための実験場」と位置づけ、この街に関わるさまざまな共創パートナーの持つ「アイデア」「サービス」「知」をかけ合わせながら街全体での実証実験で磨き上げ、世界課題の解決に資するソリューションを創出していきます。



まちびらきを彩るイベント・オリジナルテーマソング

まちびらきから数カ月の間、TAKANAWA GATEWAY CITYが創造していく未来を体感できるさまざまなサービス・イベントを多数展開するほか、この街が新しい価値を生み出し、輝かしい未来へ成長し続ける姿を表現したオリジナルテーマ曲「Glorious Gateway -The Theme of TAKANAWA GATEWAY CITY-」も新たに制作しました。日本を代表する作曲家・服部隆之氏が作曲、高輪に練習所など活動拠点を構えるNHK交響楽団の演奏により収録した本楽曲は、照明演出や時報演出の音楽とするほか、高輪ゲートウェイ駅の発車メロディにも活用します。また、地域の皆さまとの演奏会などさまざまなシーンで演奏し、この曲と共に100年先の心豊かなくらしを描いていきます。



未来先行体験シアター（イメージ）



TAKANAWA LINK SCAP（イメージ）



オリジナルテーマソング
「Glorious Gateway -The Theme of TAKANAWA GATEWAY CITY-」